

特色ある授業・教育プログラム

（産学連携による授業等）

本学では、地域の企業にご協力をいただき、**ビジネスの第一線で経験を重ねた専門家による様々な教育プログラムを実施**しています。

産学連携講座として正課の授業を開講し、産業界の講師が授業をすることにより、質の高い実践的な教育を実現しています。また、インターンシップ等においても、大学の授業だけでは得ることのできない貴重な体験ができる教育プログラムをご提供いただき、本学の人材育成に大きく貢献いただいております。

正課授業（産学連携講座）

『グローバル化と地域の経済社会』

（全学共通 2年次生春学期開講 2単位）

[講師] 株式会社三十三総研 <https://www.miebank.co.jp/33ir/>
金融・経済・産業等に関する調査研究、情報提供、経営に関するコンサルティングを通して、地元経済の活性化に貢献する企業

[授業内容] グローバル化の進展など経済社会環境は日々大きく変化しています。充実した大学生活を送り、社会人への準備を進めるには、幅広い視野で物事をみる、旺盛な好奇心を持つ、役立つ知識を得る、ことが重要です。

この講義では、「グローバル化と地域の経済社会」という視点から、我々の地域経済社会の動きが、世界や日本を取り巻く時代潮流からどのような影響を受け、関わり合いながら動いているかを学びます。

人文科学系を専門とする人にとっても、経済・産業について統計やデータを用いて具体的に理解し、実社会で役立つ応用的な考え方ができる人材になることを目指します。なお、この講座は本学との協力協定を締結している三重銀行及び三十三総研との協働によってプログラムし開設した「産学協働講座」として開講しています。



『地域再生論』

（現代日本社会学部 2年次生春学期開講 2単位）

[講師] 株式会社百五銀行 <https://www.hyakugo.co.jp/>
岸川 政之（現代日本社会学部教授）

「堅実経営」をはじめとした良き伝統を大切にしながら、地域とともに着実に成長し、進化することをめざし、新しい分野、新しい業務に積極的に取り組む銀行

[授業内容] 人口減少に伴う少子高齢化、過疎化などの問題を抱える地方にとってどのような未来を目指すべきなのか？ということが必要に応じて分野ごとにゲストを招き、受講生の前で講師とゲストの討論を展開する。受講生には、そのリアルな討論を通して地域の

現状と課題を理解させ、今後の地域のあるべき姿を自分の言葉で述べられるようにする。この講義を通じて、地域の現状を踏まえた今後の日本の在り方に対処できる資質を養い、地域に視点を持ちながらも日本全体を考えられる人材を育成することを目指す。

なお、この講座は産学官の連携講座と位置づけ、三重県の後援を受け、本学との協力協定を締結している百五銀行の寄附講座として開催しています。

課外活動等

『インターンシップ』

(全学共通 2年次生 1単位)



海外インターンシップ【マレーシアプログラム】

[提供企業] クローバー電子株式会社 <https://clover-electronics.com/>

約40年にわたって培ってきた技術に新たな情報通信技術などを加え、開発から完成までの一貫したシステムにより、世界一の受託製造開発メーカーを目指す企業

- [プログラム目的]
- ①皇學館大学の建学の精神とグローバル人材育成の趣旨目的を理解・再確認した上で、治安の良い親日国である多民族国家マレーシアの方々と接することで、日本を客観的に見て日本人としての「和」の大切さ、日本の良さを再発見する機会とする。
 - ②海外の方との付き合いの面白さ、難しさを体験し、日本人としてどのように付き合いしていくのか等を学ぶ機会とする。
 - ③将来、自身が「海外で働く」「海外と接点を持つ」「海外へ出張する」可能性があるということ、実体験を通じて考える機会とする。

[プログラム内容]

●事前学習

クローバー電子株式会社より、マレーシア経済の概要や日本とマレーシアのビジネスについてご講義いただく。

●海外インターンシップ(8月中旬:令和元年度は8月19~24日に実施)

マレーシアにある現地法人にて、駐在員や現地従業員との懇談を通じ、海外で働くということ、海外でのビジネスの現場を肌身で感じる機会を得る。

●事後学習

レポート作成及び報告会の開催

海外インターンシップ【中国プログラム】

[提供企業] 株式会社第三銀行 <http://www.daisanbank.co.jp/>

「地域に役立つ銀行」を経営理念に、東海、近畿地区を中心に、地域社会に貢献し、企業や個人のお客様のニーズにお応えするさまざまな金融サービスを提供する銀行

- [プログラム目的]
- ①異なる言語、文化、価値観に触れ、それらを理解する一つの機会としたい。
 - ②外国で仕事をするということについて、自身の適正や関心事を深く考える機会としたい。
 - ③経済関係の深い中国でのビジネスの現場を自身の目で感じることで、自身の中国の見方、考え方を考察する機会としたい。

[プログラム内容]

●事前学習

株式会社第三銀行より中国経済の概要や日本と中国の経済関係についてご講義いただく。

●海外インターンシップ（8月下旬：令和元年度は8月26～30日に実施）

中国の上海市・蘇州市にある日系企業数社を訪問、駐在員や現地従業員との懇談を通じ、海外で働くということ、海外でのビジネスの現場を肌身で感じる機会を得る。

-令和元年度に訪問した企業（4社）-

HOUJIN MOTOR LEASING

epis Educatin Center

NAC 名南（中国）コンサルティング

ファクトリーネットワークチャイナ

●事後学習

レポート作成及び報告会の開催



学生による番組制作のプロジェクト「大学生テレビ局」

[講師] 株式会社ZTV伊勢放送局 <http://www.ztv.co.jp/>

地域に根ざしたケーブルテレビ局として、人々の幸せと地域社会の発展に貢献する企業

[授業内容] プロの映像制作者の指導の下に、学生が地域を見つめ、その魅力を発信するドキュメンタリー番組や地域のキーマンに社会人の心得を聞く対談インタビュー番組を制作。その作品はケーブルテレビで放送される（年間12本制作、レギュラー番組（番組名：皇學館大学TV）として毎月放送）。

番組作成を通じて、地域の魅力と課題を発見するとともに、大学生に求められる「学士力」（知識・理解、汎用的能力、態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力）、および社会人に求められる「社会人基礎力」（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）を総合的に身につけることを目的とする。



学生が地域を見つめる番組をケーブルテレビ局と共同で自主制作

皇學館大学 TV

https://www.kogakkan-u.ac.jp/kogakkan_tv/